

「凄い迫力」「何としても国会へ送らねば」

## 大平喜信予定候補 岡山で力強く「再び国会へ」と訴え

大平喜信前衆議院議員・衆院比例予定候補は、9月24日・25日と岡山県入りし、「国民の命を守るには政権交代しかない。ぜひ再び国会へ」と力強く訴えました。



24日の午前中は、岡山市中区の市議補選に立候補した「やどめ和子」候補と一緒に訴え（写真左）。24日午後から25日にかけては岡山4区の早島町と倉敷市で訴えました（写真右）。

50人が参加した水島の街頭演説会に参加した聴衆からは「凄い迫力。何としても国会へ」という意気込みが伝わってきた」と語っていました。

## 世界気候アクション 「社会や政治を変えなければ」と若者 岡山行動には大平さん・すみよりさんも参加



気候危機を打開する国際的な取り組みの「9・24世界気候アクション」。岡山では岡山駅前に大学生や市民、市民団体が集まりスタンディングを行いました。（写真）

参加者は「気候問題は政治が力を入れて取り組めば変わる。総選挙で投票

に行っていきたい」と語っていました。このスタンディングには日本共産党から、大平喜信、すみより聡美、余江ゆきおの各予定候補が参加しました。

## 比例は共産党で、新自由主義に終止符を！

山口県労働者後援会 仁比さん 熱く語る

9月23日、山口県労働者後援会の学習決起集会が開催され、30人以上が参加。講演では、仁比聡平前参議院議員が、「歴史的な挑戦に力を合わせよう」と熱く訴えました

